

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日
令和7年4月15日

Table with columns for business name, policy system, budget items, and business period. Includes details for '出土遺物保存処理委託事業' and '文化財の保存活用'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on preservation tasks and procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (05-09) and rows for ①手段, ②対象, and ③意図. Includes metrics like '保存処理件数' and '遺物・文化財数'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input volume and costs from 05 to 09. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '事業費の内訳'.

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing implementation content for 07, 08, and 09. Includes descriptions of preservation activities for cultural heritage.

事務事業名	出土遺物保存処理委託事業	事務事業No.	20501000895	所属課	文化財課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 遺跡出土遺物の保護を図るために開始。保存処理数は年々着実に増え、企画展示などの歴史・教育等資料として資源化できている。 学校教育、真壁伝承館、他市の博物館等の公開活用では多様な資料を活用できるようになった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 企画展示や歴史講座などについて、公開活用の要望がある。 開発事業者に対しては、文化財の貴重性を理解しやすい資料となっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化財保存・活用に繋がる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化財は市民の財産であるため、市が当事業を行うのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 経年劣化が進むと処理費用が増大するので、計画的に保存処理を行い、経費の増大を防ぎ事業効果を向上する。 公開活用は年1～2回にとどまっている。歴史、教育、観光いずれも活用増によって向上余地あり。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止した場合、文化財が破損する。修復自体が困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似の事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 北関東道建設関係遺物、真壁城跡出土遺物を中心に、鉄製品や木製品等を計画的に処理すべきで、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 財務規則に則り、適切な手続きを行っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 保存処理が必要な文化財は処理が遅滞すれば劣化し、劣化の進んだ文化財は処理費用が余計にかかる。 文化財の価値を保ち、費用の増大を防ぐためにも、優先順位等計画的に保存処理を継続する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 保存処理をする優先度や重要度を見極め迅速に対処していくとともに、保存処理品の活用を促進し、桜川市への観光客や学習・研究者等の交流人口増加に貢献する。																								
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		<input checked="" type="checkbox"/> ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	